

### 自己評価及び外部評価票

【 事業所概要(事業所記入) 】

事業所番号	2090200292		
法人名	社会福祉法人JA松本ハイランド		
事業所名	ゆめの里入山辺		
所在地	松本市入山辺1453-2		
自己評価作成日	令和3年11月30日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、[長野県介護サービス情報公表システム](https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhyou_pref_search_list_list=true)で閲覧してください(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhyou_pref_search_list_list=true">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhyou_pref_search_list_list=true</a>
----------	---

【 評価機関概要(評価機関記入) 】

評価機関名	一般社団法人しなの福祉教育総研
所在地	長野県上田市上田180-6
訪問調査日	令和4年8月10日

【 事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入) 】

ゆめの里入山辺は松本市入山辺地区に事業所があり、「認知症の正しい理解を進め、専門性を高め、その人らしく生きるための支援を行う」を目標に、家庭的な環境の中で利用者様の満足度向上のために、内部研修や外部研修に参加し、知識や技術の向上を図っています。個々の生活歴や性格を把握することで自分らしく安心してゆっくりくつろげる居場所づくりを心がけています。また、ご家族との関係性作りも大切にしており、来所時やお電話があった時、お便り等で近況をお知らせしています。協力医や訪問看護と連携し利用者様の体調管理にも力を入れています。地域住民の方が採れたての野菜や果物を寄付して下さったり、畑や花壇の整備にも協力して下さいます。「入山辺地域づくりセンター」に利用者様の作品を展示させていただく事で、認知症の理解促進活動もしております。

社会福祉法人松本ハイランドが母体であり、地域に根差した複数の事業を展開し連携されております。自然豊かな住み慣れた地域で、認知症への正しい理解を得られる様に、地域包括支援センターと『認知症サポーター養成講座』を実施し、地域への啓発を進めています。『ゆめの里入山辺の理念6項目』を実践に繋げ、専門性や質の高い介護を目指し、『私の仕事プラン』を作成。年に4回の面談などで実践を振り返り、更に向上を目指し次年度に繋げています。日々の記録、研修記録などの電子化で、職員が情報を共有できる様になっています。コロナ禍でご家族との面会や、お出掛けが不自由になる中ですが、ご家族との関係づくりは、お電話の際、受診の付き添い時、届け物をして頂いた時など、折ある毎にお話をさせて頂いています。地域づくりセンターへの作品の展示、習字なども続けて、作品は自室にも飾られています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。ユニットが複数ある場合は、ユニットごとに作成してください。**

ユニット名(みなみユニット)		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど揃っていない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている。 (11, 12)	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない				

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

ユニット名( ひがしユニット )			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	66	職員は、活き活きと働いている。 (11, 12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		